表紙

『チーム北九州として共に学び共に協力していく仲間です』

①権利擁護

自分らしく生きる権利を尊重し実現を後押しします

年齢や性別、障害を問わずひとりの人格として認め、個々の思いや価値観、生きる権利、家族との関係性を守ることが必要です。
発信される思いを受け止め、利用者が豊かな人生を築いていけるように、権利の主張や、自己決定への支援をしましょう。

② 自立支援

エンパワメントや価値観の多様性を尊重します

利用者一人ひとりが人生の主人公です。
忘れかけていた夢、諦めかけていた希望。たとえ難しいことであっても、成功したり失敗したりしながら「どうしたら叶うか」を一緒に探していく。
それには私たちが、利用者の価値観や多様性を最大限に尊重する姿勢を持ち、エンパワメントの視点に立つ必要があります。

③法令順守

公正、中立性を保ち、目的とその過程を説明します

私たちが、法令や条令、社会通念上のルールを守る事により、社会的な信用を得る事ができます。その為には、変化する制度を学び、利用者に正しく説明できるようにしていきましょう。型にはまった考え方だけでなく、様々な個別のニーズにより、利用者中心の福祉サービスの活用ができるように、意見を出し合い、発展させていきましょう。

④ 調和

やさしい気持ちで、お互い支え合う共生社会を目指します

私たちの「心」と「からだ」が満たされ、自分らしくある事で、仲間と共感し、助け合う事ができます。ひとりで抱え込まずに、皆で手を取りあえる環境づくりをしていきましょう。

⑤地域づくり

利用者の声に耳を傾け、地域で共に生きる社会を目指します

「あったらいいな」の思いは、なかなか表に出にくいものです。「もっと便利になってほしい」という思いや、「ここが足りない」という思いを代わりに声に出すこと。一人ひとりの願いは地域に共有されてこそ、私たちは共に生きるという実感が得られるものです。地域の輪を作る仲間の一員として、暮らしの中で必要な「人・物・事」を作りだし、「幸福度の高い北九州」を目指します。

⑥教導と成長

質の向上と専門性への学びをもって、相談支援の力を高めます

専門的な知識や技術を高めるだけでなく、それを実践できる行動力とアップデートしていく柔軟さが求められます。ひとりの学びだけでなく、みんなで学ぶ姿勢も持ちましょう。

⑦人生の伴走者

それぞれのペースに合わせた生き方ができるように伴走します

伴走とは、一緒に走る事だけでなく、走っている道の状況を伝えるのも、ランナーの命を預かる伴走者の重要な役割です。

しかし人生の伴走者の場合はその先に困難があっても、本人の意思であれば、時には見守る事も必要です。またライフステージに応じて変化していく中、私たち相談支援専門員は、その方の人生をひとりで背負うのではなく、場面や状況によっては協働で取り組み、あるいは私たち（利用者と支援者）のウエルビーイングを考え、交代する事も必要です。

裏表紙

【多職種と連携しながら、平等且つ客観的な視点を持ち、アセスメントに基づくサービス等利用計画書を作成し、評価します】